


在宅医療機器の安全対策にかかる薬局薬剤師の役割と関係者との連携について

～薬局薬剤師へ期待が寄せられています！～

- 在宅医療が推進され、医師や訪問看護師等の専門職が支援する患者が増加 
- 専門職がその専門性を活かし、チームとして対応することが重要
- 在宅では、医療機器（機械類）や医療材料類を使用している患者が数多くいる！

薬局薬剤師には、医薬品だけでなく医療機器（機械類）や医療材料類への関与について医師、訪問看護師等の専門職とともに協働することへの期待が寄せられています。

医療機器（機械類）や医療材料類の選定と調達

- 在宅の症例経験が少なく、医療機器の流通制度に精通していない地域の在宅関係者にとって、医療機器（機械類）や医療材料類の選定や調達は大きな負担です。
- 取扱業者の紹介や必要な医療機器（機械類）や医療材料類の相談など、薬局薬剤師の協力が求められています。

医療材料類の供給拠点及び管理

- 薬局が医療材料類の供給拠点となることで、医師や訪問看護師等の医療材料類に関連する負担が軽減され、チーム医療に有益であるとの報告があります。
- 薬局薬剤師が、患者宅での在庫管理に関与することで、医師や訪問看護師等の現場での業務がスムーズに進められるようになり、在宅医療の質の向上が期待されます。

医療機器の適正な使用

- 在宅医療チームの一員として、医療機器のトラブル発生時などの非常時にはチーム員に速やかに連絡をとり、重大な事故の防止につなげられるよう協力が求められています。そのために医療機器の基礎的な知識の習得が必要です。
- 患者や家族から医療機器に対する相談や疑問を投げかけられた際には、内容に応じて、医師や訪問看護師、当該医療機器の貸与業者に相談をつなぐことが大切です。

かかりつけ薬剤師・薬局の推進 多職種との連携

- かかりつけ薬剤師・薬局が定着すれば、患者を介して、在宅医療に関わる薬局薬剤師と多職種との連携が進むと考えます。普段から、かかりつけ薬剤師・薬局を持つよう患者に働きかけることが大切です。
- 日常の業務において、医薬品の安全性情報を収集していますが、医療機器に関する情報についても積極的に収集し、多職種に提供していくことが大切です。

- ・ 薬局薬剤師に在宅医療での役割を期待する関係者は、薬局薬剤師に業務を移管するのではなく、チーム内で協働したいとの意見です。
- ・ また、人工呼吸器等の専門性の高い医療機器に関しては、在宅医療チームの一員として対応するよう協力が求められています。
- ・ 地域の実情に合わせて、本書を参考に積極的な関与をお願いします。

